

バイオリギング実習 (水圏フィールド環境・生物のモニタリング実習) 実施要項

1. 授業科目

特別実習Ⅰ 1単位（北海道大学水産学部の単位）

但し、単位は、所属する大学が認めたときにのみ修得となる。なお、本実習の受講により上記単位を修得した学生は、本年度実施する他の公開水産科学実習を受講しても再度単位を修得することはできない。

また、公私立大学の学生が上記単位を修得するには、あらかじめ学部間での単位互換に関する協定の締結が必要となる。（詳細については、北方生物圏フィールド科学センター学術協力担当宛て問い合わせること。（12. 参照））

2. 実施場所

函館市国際水産・海洋総合研究センター（北方生物圏フィールド科学センター生態変動解析分野）

〒040-0051 北海道函館市弁天町 20-5、TEL：0138-85-6625

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 臼尻水産実験所

〒041-1613 北海道函館市臼尻町 152、TEL：0138-25-3237

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 七飯淡水実験所

〒041-1105 北海道亀田郡七飯町桜町 2 丁目 9-1、TEL：0138-65-2344

宿泊場所は、全日程において臼尻水産実験所を利用する。

3. 実施期間

令和8年8月31日（月）～9月4日（金）5日間

8月31日（月） 10:00 函館市国際水産・海洋総合研究センター集合

9月 4日（金） 17:00 函館市国際水産・海洋総合研究センター解散

4. 対象

国立大学（北海道大学を除く）、または公私立大学に在籍する学部2～4年次の者を対象とする。定員に空きがある場合は1年生および大学院生も受講可能だが、単位修得はできないので留意すること。

5. 主な実習内容

函館市国際水産・海洋総合研究センター（以下、「海洋センター」）、臼尻水産実験所および七飯淡水実験所において、バイオリギング機器の取扱習得・水棲生物（主に魚類）へのデータロガーによる行動計測方法の習得、および行動データ解析について学ぶ。併せて、行動解析において必要となる環境情報の計測手法についても合わせて学ぶ。

（暫定スケジュール）

- 1 日目（8 / 31）：バイオリギング講義・バイオリギング機器の取扱い
および魚類への装着と行動測定実習（海洋センター）
- 2 日目（9 / 1）：GPS 位置測位実習（大沼公園）
- 3 日目（9 / 2）：魚類飼育設備の見学（七飯淡水実験所）
バイオリギング行動データの回収・解析（海洋センター）
- 4 日目（9 / 3）：環境計測実習（臼尻水産実験所）、レポート作成（海洋センター）
- 5 日目（9 / 4）：プレゼン作成・成果発表（海洋センター）

6. 定員

定員は 10 名とする。

書類選考により採否を決定し、採否については 7 月 31 日（木）までにメールにて個別に通知する。

7. 提出書類その他

- （ア）特別聴講学生願書
- （イ）学生証のコピー
- （ウ）受講希望理由書（前後泊の希望を必ず記入すること）
- （エ）学生教育研究災害傷害保険（学研災）および学研災付帯賠償責任保険（付帯賠償）への加入を証明するもの（領収書・証明書等）

書類（ア）（ウ）および本要項は、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター食糧基地拠点ホームページ（教育関係共同利用拠点ホームページ）内の、公開水産科学実習のページよりダウンロード可。

URL : <https://www.fsc.hokudai.ac.jp/suisan-kyoten/wordpress/>

上記（エ）の保険では、本実習中における新型コロナウイルス感染症をはじめとする疾病感染時の治療および入院等にかかる費用は補償されない。

これらの補償を受けるには（エ）以外に任意で「学研災付帯学生生活総合保険」に加入する必要がある。

詳細は食糧基地拠点ホームページ「Information（保険加入案内）」欄

<https://www.fsc.hokudai.ac.jp/suisan-kyoten/wordpress/insurance/>

を参照のこと。

※保険関係書類について、紛失・再発行等の理由により提出が遅れる場合は申し出ること。

8. 申込期限：令和8年7月10日（金）17：00 必着

9. 申込先

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 事務部学術協力担当
〒060-0811 北海道札幌市北区北11条西10丁目
TEL：011-706-3452 Mail：kyoryoku@fsc.hokudai.ac.jp

※1 必ず所属大学の教務関係担当事務を通して申し込むこと。

※2 メール・郵送のいずれかにより応募すること。なお、郵送により提出する場合、封筒表に「公開水産科学実習参加申込書類在中」と朱書きすること。

10. 参加費

宿泊費（4泊）と食費（8月31日昼食～9月4日昼食）合計10,000円程度。
実習地までの往復交通費、前泊・後泊など実習期間外の宿泊費は実習生が負担。
なお、授業料の徴収はしない。

11. 交通機関と前後泊について

近年の交通機関および宿泊施設の価格上昇に伴う参加学生の金銭的負担を考慮して、以下の対応を行う。

【実習受講者に対する内々定通知】

早めに旅程を考えられるよう、募集終了日（7月10日）以降なるべく早く、受講内々定者に向けて通知を行う。

【前後泊用ホテルの仮予約】

実習期間前後泊用のホテルをそれぞれ1泊分、本学にて仮予約している。必要があれば、受講希望理由書の「前後泊の希望」欄に記載すること。

12. 問い合わせ先

【申込に関する問い合わせ】

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター事務部学術協力担当（担当：千葉）
〒060-0811 札幌市北区北11条西10丁目 TEL：011-706-3908
Mail：kyoryoku@fsc.hokudai.ac.jp

【実習内容に関する問い合わせ】

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 生態系変動解析分野
〒040-0051 北海道函館市弁天町20-5 函館市国際水産・海洋総合研究

センター217 号室 TEL&FAX: 0138-85-6625

Mail: aquatic@fsc.hokudai.ac.jp

(担当教員: 宮下和士教授・南憲吏准教授)

13. 参考

食糧基地拠点 HP: <https://www.fsc.hokudai.ac.jp/suisan-kyoten/wordpress/>

七飯淡水実験所 HP: <https://www.fsc.hokudai.ac.jp/nanae/home.html>

臼尻水産実験所 HP: <https://sites.google.com/view/usujiri-fisheries-station-hu/>

14. その他

各施設間の移動は、すべて教職員が運転するレンタカー等で行う。自家用車での移動は認められないので留意すること。詳細な日程、実習内容、交通案内、日常生活上の注意などに関しては、採択通知後に受講決定者にメールにて通知する。